

## 家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

矢野信行さん ちさとさん  
 凌成くん 友徠ちゃん

(西古泉)

西古泉に住む矢野さんファミリー。家の中よりも外で過ごすことが好きな元気いっぱい仲良し家族です。

信行さんはサッカー、ちさとさんはレクバレーなど個々の趣味を楽しむ2人。信行さんは「大きく見守って自由にさせてくれる」と、ちさとさんへの感謝の気持ちを話します。一方「週末の朝ごはんなど家事をしてくれる育メン」と、信行さんのことを話すちさとさん。お互いが協力しながら、個人の時間も大切にしています。

そんな両親の姿を見て育った子どもたち。「何でも一生懸命で、こつこつ頑張れる」凌成くんは空手、サッカーとホッケーを、お兄ちゃんの影響を受けた友徠ちゃんも空手を頑張っています。凌成くんが「目標は黒帯」と話せば、友徠ちゃんも「私も」と笑います。

体を動かすことが好きな4人がそろると、バーベキューをしたり、信行さん手作りの竹の流しそうめんセットでそうめんを食べたりして、外で元気に過ごします。友徠ちゃんも家族の時間がより楽しくなるように進んでお手伝いして。「キャンプをしたい」と話す矢野さんファミリーの楽しい時間は、まだまだ続きそうです。

今回は、ちさとさんのお友達、川元かおるさん＝西古泉＝ファミリーをご紹介します。



### ◎ PROFILE

やの・のぶゆき 会社員。趣味はサッカー。伊予市出身  
 やの・ちさと パート。楽しみは友達とお茶会。松山市出身  
 やの・りょうせい 魚や恐竜を見たり描いたりするのが好き。小3  
 やの・ゆら かわいいもの、キラキラしたものが好き。小1



## えひめ国体 注目のAthlete

えひめ国体に向け頑張る選手を紹介します

佐伯 美帆子 さん =フジ(株)所属=

ソフトテニス(成年男女)は、大洲市で開催。地元の選手を応援しよう。



ソフトテニスで、えひめ国体出場を目指す佐伯美帆子さん。「テニスをするのが当たり前」と話すように、小学校2年生から大学生まで、がむしゃらに練習を続けてきた佐伯さんですが、社会人1年目となった現在は、仕事との両立を図りながら練習を行っています。「学生のころに比べ、練習量も減って体力も落ちているので、ボールとの距離や打つリズムを意識して練習しています」と言います。

体力面や練習量の不安は、別の部分でカバーしていま

す。「大舞台での緊張感など、場数は多く踏んでいます」と話す佐伯さん。平成25年長崎国体6位、26年和歌山国体県代表をはじめ、15年以上ソフトテニスを続けてきた経験も武器にして、県代表の切符をつかもうと努力を続けています。

「国体は県同士の戦いだから、愛媛県のみなが応援してくれます。だから、学校対抗や実業団対抗の試合とは盛り上がり違います」と、国体の雰囲気話す佐伯さん。地元開催で、より盛り上がるえひめ国体の舞台を狙うライバルは多くいます。その中でも、「他の人のプレイを見て、いいところを取り入れていきたい」と冷静に、また力強く話す佐伯さん。その姿に目が離せません。

## Statistics ( )は前月比

人の動き	男性	女性	合計	世帯
(H 28.7.31 現在)	14,649人 (-12)	16,271人 (-18)	30,920人 (-30)	13,213世帯 (-19)

松前町は平成72年に25,000人のまちを維持します



9月は稲刈り。黄金色の稲穂が秋空の下で輝きます。みんなで出掛けて、松前町の魅力を再発見しませんか。

町内の魅力的な人、物、イベントを知っている人は、総務課広報情報係(☎985-4132)まで連絡してください。

## Payment ◎納期限内に納めてください

国民健康保険税(普通徴収)	第3期
介護保険料(普通徴収)	第3期
後期高齢者医療保険料(普通徴収)	第3期

納期限 9月30日金 口座振替 9月26日曜

### 表紙の写真

8月6日、まさき町夏祭りで行われた「はんぎり競漕」の1コマ。小学生女子の部決勝。子どもたちは真剣なまなざしで漕ぎ進め、勝利を目指していました。



## Boys&Girls, Be Kids Ambitious! 頑張る子どもを紹介します

松前小6年 中野里菜ちゃん(北黒田) 山田蒼依ちゃん(筒井)

「茶道で礼儀作法が身に付いた」

松前小学校6年生の中野里菜ちゃんと山田蒼依ちゃん。茶道が好きな2人の女の子です。

「保育園のときから茶道に興味があった」と始めたきっかけを話す里菜ちゃん。「細かい作法や決まりを守るのが難しいけれど、面白い」と、今でも変わらぬ茶道への情熱を見せます。

そんな里菜ちゃんに誘われて始めたのが蒼依ちゃんです。「自分でたてたお茶を飲みながらお話しするのが楽しい」と、茶道の魅力について笑顔で話します。

茶道を通して学んだことは、普段の生活にも生かされています。「片付けや掃除を今まで以上に丁寧にするようになり、見た目も大事にしようと思うようになりました」と話す2人。

これからの目標について、「里菜ちゃんがやっている茶箱の作法を習いたいです」と意気込みを見せる蒼依ちゃん。一方、里菜ちゃんは、「茶道の先生のように着物を着てお茶をたててみたいです」と、挑戦したいことをこやかに話してくれました。

きっと2人は、これからも礼儀作法を身に付け、楽しみながら茶道を続けていくことでしょう。

